

## ◎「宗教間対話を」国連で会合 各国首脳ら参加

【アサヒ・コム、11/13、ニューヨーク＝松下佳世】文明間の対話を通じて和平の進展を目指すハイレベル特別会合「平和の文化」が12日、国連本部で始まった。サウジアラビアのアブドラ国王の呼びかけで、中東各国を中心に首脳級20人を含む計80人が参加。最終日の13日には、ブッシュ米大統領のほか、高村正彦前外相が首相特使として出席する。

イスラム、ユダヤ、キリストの3大一神教の和解を軸に、異なる宗教間の対話促進を目指す国際的な取り組みの一環。前日に開かれた潘基文（パン・ギムン）・国連事務総長主催の夕食会では、アブドラ国王と、サウジと国交のないイスラエルのペレス大統領が違うテーブルながら同席するなど、友好ムードを演出した。

アブドラ国王は会合で「テロと犯罪行為はすべての宗教と文明の敵だ」として宗教的寛容の必要性を訴えた。

一方、高村特使は同日、アフガニスタンのカルザイ大統領と会談。インド洋での補給支援活動継続に向けた努力などを強調した。

■ <http://www.asahi.com/international/update/1113/TKY200811130072.html>

## ◎「家の教会」指導者一家釈放される

【CJC＝東京】中国の非公認地下教会「家の教会」指導者の1人、バイク・ザン・ミンスアン牧師一家が10月所在不明となり、行方が懸念されていたが、11月8日になって中国当局から釈放されていたことが確認された。

米国に本拠を置く人権監視団体『対華援助協会』によると、牧師と夫人、その姉妹の3人は10月27日、河南省南陽の収容所から釈放された。10月20日に北京で開かれた家の教会連合の3周年記念式典に参列しようとした所を拘束された、という。